

平成28年度 鞠智城跡「特別研究」採用者一覧

No.	申請者	研究分野	所属	役職等	地域性	年齢	申請研究テーマ	申請研究概要
1	ヤマグチ ユウヘイ 山口 裕平	考古学	行橋市教育委員会	文化財専門職	九州	36	AR・VR技術を応用した鞠智城跡整備の一例ー城門遺構についてー	鞠智城跡における深迫・堀切・池ノ尾3箇所 ^ノ の城門遺構を対象に、AR技術により各城門の復元例を2D画像で提示し、AR・VR技術を応用した整備の一例を提示する。
2	コンドウ ヨウイチ 近藤 浩一	朝鮮史学	京都産業大学等	非常勤講師	関西	39	8世紀(Ⅱ期後半～Ⅲ期)の鞠智城と肥後地域ー同時期の新羅山城との比較検討を中心にー	鞠智城Ⅱ期後半からⅢ期までの鞠智城に焦点を合わせ、同時期の朝鮮半島の山城との比較検討から、両者の山城の行政・運営方式及び倉庫群の役割等を明らかにする。
3	ノギ ユウダイ 野木 雄大	文献史学	福岡県人づくり・県民生活部文化振興課世界遺産登録推進室	学芸員(主任技師)	九州	30	10世紀における国家軍制と鞠智城	10世紀の列島全体の軍事的画期を再検討することで、同時期の鞠智城を位置づけ、さらに西海道の特殊状況と大宰府軍制の展開が鞠智城廃城の要因となったことを明らかにする。
4	スナガ シノブ 須永 忍	文献史学	明治大学日本古代学研究所	研究推進員(臨時)	関東	31	古代氏族の動向からみた鞠智城の形成過程ー7世紀の菊鹿盆地を中心としてー	7世紀の菊鹿盆地における有力豪族の動向を分析することで、鞠智城の形成過程を明らかにする。